

# ことし ねんめ むか TosaWaveは 今年で 20年目を 迎えました！

TosaWaveは最初に作ってから今年で20年です。2005年、高知県に住んでいる外国人は3,727人でした。今は、78カ国6,996人\*が高知で生活しています。今回は、20年前の高知と今の高知を比べながら、帰国した・外国にルーツをもつ子どもたちのためにしていること、地域の日本語教室・日本語サロンのこと、高知のハラールのことを紹介します。KIAでは、みなさんが高知で安心・安全に生活できるように情報を届けます。

\*出典：出入国管理庁在留外国人統計（2025年6月末）

## こうちしきょういくけんきゅうじょ 高知市教育研究所で していること

こうちけんこくさいにうりゅういん  
高知県国際交流員 ブイ カイン リン（ベトナム出身）

この回は、海外から日本に帰国した人や、外国にルーツ（roots：根源）をもつ子どもたちを支えている〈高知市教育研究所〉で話を聞きました。ほとんどの子どもたちは、日本や高知に来るまでに、日本語の勉強をしていません。日本の文化や習慣もあまりしりません。それで、言葉や文化がちがって困ることがあります。そうした子どもたちが、安心して過ごせるように、市内の学校といつしょに支援（困っている人を助けること）をしています。

### ～どんな支援がありますか？～

- ・高知市の小学校・中学校に入学・編入・転入（ほかの学校に変わること）する時、家族が希望したら、日本語指導の支援について相談できます。
- ・日本語指導の支援では、児童・生徒が通っている学校で、初めの（あいさつ、ひらがな、カタカナなど）日本語の学習を支援します。
- ・「日本語教室」では、教育研究所で日本語の勉強をします。学校の宿題を持ってくる人もいます。

さまざまなくにやちいきのこどもたちに支援していく、特に小学生が多いようです。  
毎週水曜日の午後3時～6時に「日本語教室」があります。日本語を勉強したり、宿題をいつしょに考えたりしているそうです。

子どもたちの生活習慣や文化は、一人ひとりちがいます。そのため、必要な支援の内容もちがいます。それぞれに合った方法を工夫しながら、子どもたちが日本語に興味を持つように支援しているそうです。年1回、支援を受けている子どもたちとその家族で、楽しく交流する時間もあります。

日本語指導では、子どもたちが「発想力」や「応用力」を身につけて、自分で考える力を育てるなどを大切にしています。学習が進むごとに自信がつき、積極的に話したり行動できるようになり、活動に集中できるようになります。

また、家族と話している時に、学力や将来のこと、生活、クラスでの友達関係の話が出ることもあるそうです。日本語での会話が難しい場合は、翻訳アプリや通訳、やさしい日本語、写真や絵、ジェスチャーなどを使って話ができるので安心ですね。

**【写真】** → [A-1] 高知市教育研究所の日本語教室  
[A-2] 日本語教室の先生

### こうちしきょういくけんきゅうじょ 高知市教育研究所

場所：〒781-8010 高知市桟橋通2丁目1-50 アスパルこうち  
電話：088-832-4498  
※高知市の小・中学生が対象です。  
※初めの日本語（あいさつ、ひらがな、カタカナなど）の支援が必要な場合は、学校の先生に、高知市教育研究所について相談してください。

## こうちけん ちいきにほんごきょうしつ にほんご しょうかい 高知県の 地域日本語教室・日本語サロンの 紹介 こうちけんこくさいにうりゅういん 高知県国際交流員 ジェームズ バンブリッジ（イギリス出身）

みなさんが住んでいる地域に日本語教室があります。日本語の勉強だけでなく、楽しく交流できる場所です。今回は尾崎さん（高知県日本語教育総括コーディネーター）に質問して、詳しく聞いてみました。

### Q1. 高知の外国人の状況を教えてください。

統計によると、2025年6月末の高知県に住む外国人の人数は6,996人です。2012年の3,380人から約2倍になりました。少子高齢化（子どもが減って、年をとった人（65才以上の人）が増えること）が進む中、働く外国人の方は高知にとって大切な存在です。

**Q2. 日本語が話せない外国人は、どうやって日本語を学べばいいですか？**

まず、日本人の友達や仲間を作つてみましょう。仕事だけでなく、趣味の教室やサークルなどもおすすめです。次に、興味のあるテレビ番組やネット動画を見て、日本語の語彙や表現を増やしましょう。語彙や表現が分かると文章が理解しやすくなります。そして大切なのは、日本語を読んだり、聞いたりする時間を自分から作ることです。毎日少しでも日本語を読んで聞いて、使い続けることが日本語が上手になる近道（いい方法）です。

**Q3. 高知に日本語教室はありますか？**

はい。無料で参加できる日本語教室が15カ所あります。また、高知県が作った「eラーニングコース」もあります（2025年6月2日～12月1日）。オンラインで日本語を勉強することもできますよ。

**Q4. 日本語教室は、どんな場所ですか？**

地域に住んでいる外国人と日本人が集まって、いろいろな活動をする場所です。日本語を勉強するだけではなく、地域の防災を学ぶこと、季節の行事を楽しむことなどもできます。

**Q5. 日本語を勉強する人にメッセージをお願いします。**

日本語が分かれば、日本での世界が広がります。今の時代には様々な勉強方法があります。大切なのは、自分のペース（pace：速さ）で楽しく学ぶことです！

【写真】→ [B-1 高知県日本語教室・日本語サロンのマップ]、[B-2 e-ラーニングで日本語を学ぼう！]



Q：ハラール食ってなんですか？

A：ハラール食のこと、知っていますか？高知県には1,250人\*のインドネシア人が住んでいます。インドネシア人の80%以上はイスラム教徒、つまり【ムスリム】です。イスラムのルールで食べていいものは【ハラール】と言い、酒や豚肉を使ったものは食べていけないもので【ハラーム】とあります。ムスリムの人が、間違ってハラームを食べてしまうと、悲しい気持ちになりますから、とても気をつけています。高知のハラール食について、高知に住むインドネシア人にアンケートをしました。27人が答えてくれました。\*出典：出入国管理庁在留外国人統計（2025年6月末）

**アンケートから分かったこと**

アンケートから、ハラール食品を見つけることが大変だ、ということが分かりました。アンケートに答えた63%が、「ハラール食品を見つけるのが少し難しい、またはとても難しい」と答えました。「とても簡単」と答えた人は、ほとんどいませんでした。96%の人は、「高知県でハラール食品の情報をもっと増やして、もっと買いややすくしてほしい」と強く思っています。【C-1 図1・C-2 図2参照】アジアの食べ物を売っている店や、ムスリムの食べ物を売っている店で買う人が一番多いようです。自分で料理する人、インターネットで買う人もいます。残念なことに、66.7%の人が、「間違えてハラールではない食べ物を食べてしまったことがある」と答えました。【C-3 図3参照】ハラール食を見つけたり、食べたりするのが難しい理由には、●値段が高い、●店が遠くて行くのが大変、●ハラールの肉や材料が少ない、●食べ物の説明（漢字）が読みない、●本当にハラールかどうか心配になる、などがありました。「もっと値段が安くなると嬉しい」「ハラールかどうか、もっと分かりやすくなるといい」「高知県に住むムスリムの人が安心して、楽しく暮らせるように、ハラールをもっと知ってくれるといい」という意見がありました。

**さいご 最後に**

高知のレストランや店がハラール食を出せるようになると、ムスリムのお客さんが増えるだけでなく、色々な文化・習慣の人にとって、高知県が住みやすい場所になると思います。ハラール食品を買うことができる場所がもっと増えて、ムスリムの人が安心して美味しいものを食べられるようになることを願っています。

20年前（2005年）は、高知に住むインドネシア人は、320人でした。現在は、約4倍になっていることが分かります。ムスリムの人々にとっても、安心・安全に住みやすい高知県になるために、まずはムスリムのことを知つてもらえると嬉しいです。

【写真】→ [C-1 高知でハラール食を見つけるのはどのくらい簡単ですか？（1はとても簡単、2は簡単、3は難しい、4はとても難しい）]  
【C-2 あなたは高知でハラールについてのお知らせがもっと必要だと思いますか？（とても必要96.3%、すこし必要3.7%）]  
【C-3 間違ってハラールではない食品を食べてしまったことがありますか？（はい66.7%、いいえ7.4%、たぶん・わからない25.9%）]